Press Release

2026 年 11 月 5 日

報道関係者各位

イーソル株式会社

eSOL、JASA「SDx プラットフォーム委員会」の委員長を受任、SDV を筆頭とした次世代 SDx に向けた共通アーキテクチャの確立・実証を牽引

～ メカ・エレ・コンピュータを統合する「E2E DevOps」を主導、「EdgeTech+ 2026」で基調講演「SDx プラットフォーム：ソフトウェアが繋ぐ新たなモノづくりと新たなアライアンス」と関連技術の展示を実施 ～

イーソル株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長 CEO 兼 CTO：権藤 正樹、以下 eSOL）は、一般社団法人 組込みシステム技術協会（以下 JASA）が本日始動を発表した「SDx プラットフォーム委員会」（以下 SDxPFC）に中核企業として参画し、SDV を筆頭とした次世代 SDx（Software Defined Everything）に向けた共通アーキテクチャの確立から実証までを牽引していくことをお知らせします。

本委員会では当社代表の権藤が委員長を務め、自動車メーカーを含む参画企業と協調しながら、SDx の実現に向けた技術的課題の解決を主導していきます。eSOL は新時代の OS ベンダーとして、強みである高度なリアルタイム OS（以下 RTOS）技術からプラットフォーム、開発プロセスまでをトータルで支える「Full Stack Engineering（フルスタックエンジニアリング）」を提供します。

また、11 月 18 日（水）から 20 日（金）で開催される「EdgeTech+ 2026」のオートモーティブ ソフトウェア エキスポ 2 日目となる「SDx カンファレンス Day」（19 日）において、「SDx プラットフォーム：ソフトウェアが繋ぐ新たなモノづくりと新たなアライアンス」と題して権藤が基調講演を行うとともに、展示会場の eSOL ブースでは、関連技術やソリューションについて当社において過去最大規模の展示と各種ブースプレゼンテーションを行います。

■ JASA SDxPFC 参画の背景と業界の課題：車両全体の「E2E DevOps」の欠如

現在、自動車産業をはじめとするモノづくりの領域では、ソフトウェアの更新によって製品価値を継続的に向上させる「SDx（Software Defined Everything）」への変革が急務となっています。しかし、従来の開発は ECU ごとにサイロ化されており、ハードウェアの制約や領域ごとの壁（メカ・エレ・コンピュータ：機械・電子・ソフトウェア／コンピュータ領域）が、開発効率やシステム全体の品質向上を阻む構造的な課題となっていました。

次世代 SDV の実現には、クルマ全体を俯瞰で捉え、企画から量産後まで、メカ・エレ・コンピュータの全領域を統合的に同時並行（コンカレント）で設計・検証する「E2E DevOps（End-to-End DevOps）」の仕組みと、それを支える共通のソフトウェアプラットフォームが不可欠です。

■ eSOL の提供価値と役割：サイロ間をつなぐソフトウェア基盤の提供

eSOL は長年にわたり、マルチコア/メニーコア環境に最適化されたスケーラブルな RTOS 技術を通じ、ミッションクリティカルな分野において高い安全性とリアルタイム性の両立を実現してきました。本委員会の共通アーキテクチャ確立・実証フェーズにおいて、eSOL はコンピュータ領域におけるフルスタックの技術基盤（実行基盤および開発基盤）を提供します。これにより単なるソフトウェア開発の効率化に留まらず、MBD（モデルベース開発）や MBSE（モデルベースシステムズエンジニアリング）、仮想 ECU（Virtual ECU）等を用いたメカ・エレの仮想開発空間ともシームレスに連携するアーキテクチャの確立と実証を主導します。
ハードウェアの制約を抽象化し、異なるドメインのツールチェーンとデータを繋ぐプラットフォームの実現を支援することで、実践的な「E2E DevOps」環境の確立を牽引します。

■ イーソル株式会社 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 権藤 正樹（JASA「SDx プラットフォーム委員会」委員長）のコメント

「SDV をはじめとする SDx の社会実装は、足回りとなる OS やソフトウェアアーキテクチャの革新が最大の鍵（イネーブラー）となります。そして、日本のモノづくりの未来は、メカ・エレ・コンピュータの領域をソフトウェアで繋ぎ、組織や企業のサイロを突き破る『E2E DevOps』を実現できるかに懸かっています。当社が培ってきた Full Stack Engineering での知見は、この領域横断の連携を可能にする重要なピースです。11 月 18 日からの『EdgeTech+ 2026』では、当社ブースでの技術・ソリューション展示および 19 日の『SDx カンファレンス Day』での基調講演を通じて、本取り組みの具体像をお示しします。当社は本委員会という業界横断の共創の場を通じて、日本の産業界が One Team となって世界で勝つための競争力強化に貢献してまいります。」

■ 「EdgeTech+ 2026」出展および「SDx カンファレンス Day」基調講演登壇のご案内

JASA が主催する国内最大級の組込み・エッジテクノロジー総合展示会「EdgeTech+ 2026」のオートモーティブ ソフトウェア エキスポ 2 日目「SDx カンファレンス Day」（19 日）において、本委員会の活動計画を発表します。さらに 3 日間を通して eSOL の最新技術およびソリューションの展示を行います。

1. 「SDx カンファレンス Day（EdgeTech+ 2026 内）」開催概要

当社代表の権藤が SDx プラットフォーム委員会 委員長として登壇し、本委員会の活動計画と SDV に向けた実証ロードマップや技術的展望について解説します。また、参画企業の講演も予定されています。

- 日　時： 2026 年 11 月 19 日（木）10:00～18:00　※EdgeTech+ 2026（2 日目）
- 会　場： パシフィコ横浜「EdgeTech+ 2026」展示ホール内
  オートモーティブソフトウェアエキスポ基調講演会場
- テーマ： SDx プラットフォーム委員会の活動計画と、SDV に向けた実証ロードマップの紹介
  自動車メーカー、サプライヤの最新動向
- 登壇者： 権藤 正樹（SDx プラットフォーム委員会 委員長／イーソル）、参画企業各社
- 参　加： 無料（事前来場登録制）　https://www.jasa.or.jp/expo/
- 備　考： JASA 発信のプレスリリース（2026 年 11 月 5 日付）も併せてご参照ください。
  プレスリリース URL　https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000172759.html

2. 「EdgeTech+ 2026」eSOL ブース 出展概要

「モノづくりは、SDx の時代へ。AI で加速するその先を、フルスタックのソフトウェア技術で切り拓く」をテーマに、車両制御と AI 体験を両立させる「eSOL AI Mobility Sandbox」をはじめ、SDx×AI 時代のソフトウェア開発を強力に支援する各ソリューションの展示およびブース内プレゼンテーションを実施します。

- 会　期： 2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金） 10:00～17:00　　※19 日（木）のみ 18:00 まで
- 会　場： パシフィコ横浜：展示ホール（eSOL ブース：小間番号 CM-09）
- 主な展示内容：
  - ✧ AI エージェントと人・車両が対話するための実験場：**eSOL AI Mobility Sandbox**
  - ✧ エッジ AI×ロボティクス×デジタルツイン：**フィジカル AI 時代のエッジシステム開発ソリューション**
  - ✧ 機能安全対応スケーラブルリアルタイム OS：**eSOL eMCOS**
  - ✧ AUTOSAR のメリットを具現化：**eSOL AUTOSAR Solutions**
  - ✧ 時系列データ解析・性能解析プラットフォーム：**PRISM Profiler**
- 詳　細： https://www.esol.co.jp/event/event_391.html

■ eSOL について

eSOL は、革新的なコンピュータテクノロジーによって世界の人々のためのサイバーフィジカル社会を実現するワールドクラスのフルスタックエンジニアリング企業です。eSOL 独自のマルチカーネルテクノロジー（特許取得）によって開発された eMCOS®リアルタイムオペレーティングシステム（RTOS）を中核とし、プラットフォーム、OS、アプリケーションの各層と、ツールチェーン、プロセスまでをトータルに提供する”Full Stack Engineering”でお客様のソフトウェア開発を支援します。eSOL の技術および高性能でスケーラブルなソフトウェアプラットフォーム製品と優れたプロフェッショナルサービスは、厳格な品質、安全性、セキュリティ基準が求められる車載システムをはじめ、FA、人工衛星、医療機器およびデジタル家電を含むあらゆる組込みアプリケーションの分野において世界中で採用されています。最先端の自社製品の研究・開発や、主要メーカーや大学機関との共同研究に加え、AUTOSAR、Autoware、マルチ・メニーコア技術の標準化活動を積極的に進めています。2025 年 5 月に創業 50 周年をむかえ、東京証券取引所スタンダード市場に上場しています。（証券コード:4420）

イーソル株式会社 会社情報：https://www.esol.co.jp

* Autoware は、自動運転のために ROS/ROS 2 上に構築されたオープンソースソフトウェアです。
* イーソル、イーソル株式会社、eSOL および eMCOS は、イーソル株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です。
* その他、記載された会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先
イーソル株式会社　コーポレートコミュニケーション室
e-mail : media@esol.co.jp
URL : https://www.esol.co.jp/